

広報 たなべ

田辺町役場

電話田辺271~274

発行人 京都府田辺町役場公室

印刷所 奥田印刷KK

記念行事

10月7日～10月10日

田園都市へさらに前進!

町合併15周年をむかえて

町や村は、政治
重ねられたので
うとする努力が
なく、これらの
町や村を合併しよ
うとする努力が
重ねられたので
す。今までも
町が中心となり
町村を合併しよ
うとする努力が
重ねられたので
す。今までも
町や村の五ヶ
村・三山村・草内
村・普賢寺村の五
町村を合併しよ
うとする努力が
重ねられたので
す。今までも
町が中心となり
町村を合併しよ
うとする努力が
重ねられたので
す。今までも
町や村は、政治



(北尾町長)

町民運動会(9月10日) 前夜祭は10月7日(田辺小で)

ことしは、田辺町が昭和二十六年四月に、大住・草内・三山木・普賢寺の各村を編入統合し大田辺町となつてから、ちょうど十五年目にあたります。またこれに先立つこと明治三十九年十月には、田辺・薪原・河原・興戸が合併し田辺町として町制がしかれから数えると六十年になります。そこで町ではこれを記念して、つぎのような日程で記念行事を催すことになりました。

記念行事プログラム

- ◇前夜祭 10月7日(金) 午後7時から
田辺小校庭(雨天中止)
府警音楽隊のパレード・演奏、青年団の軽音楽・フォークダンスなど
- ◇記念式典 10月8日(土) 午前10時から
田辺小体育馆
町旗紹介・住民憲章発表など
- ◇町民運動会 10月9日(日) 午前8時30分から
田辺中校庭(雨天は10日)
10月10日(祭) 午前9時30分から
田辺小体育馆
- 町15年の歩み展・児童生徒作品展
・住宅展・農機具展など
- ◇演芸と映画会 10月10日(祭) 午前10時から
田辺小体育馆
広報映画・青年団の演劇・軽音楽、婦人会の田辺おどりなど

’66.10

No. 47

ご案内いたします。
ご案内といたします。
にご参加ください。
そして明日の町づくりにお力添
えいたしますようお願いして、

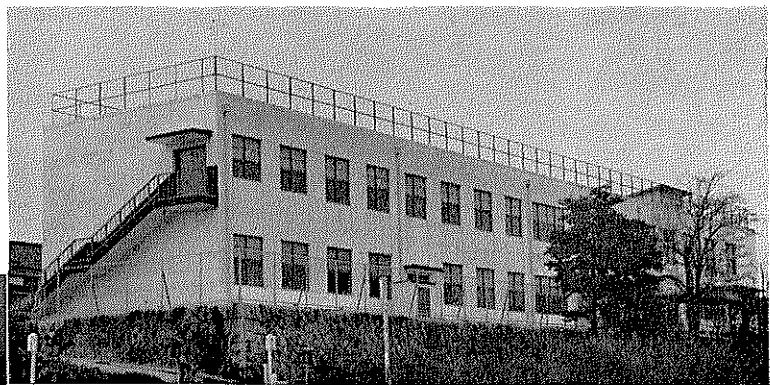
みなさま一人でも多くの催し
にご参加ください。
そして明日の町づくりにお力添
えいたしますようお願いして、

みんなと明るく住みよい豊かな文化の町をつくるために努力して行きたいと決意を新たにします。
本町では、この二つの記念すべき年を意義あるものにするため、別掲のプログラムのように、十月七日から記念行事を開幕することになりました。

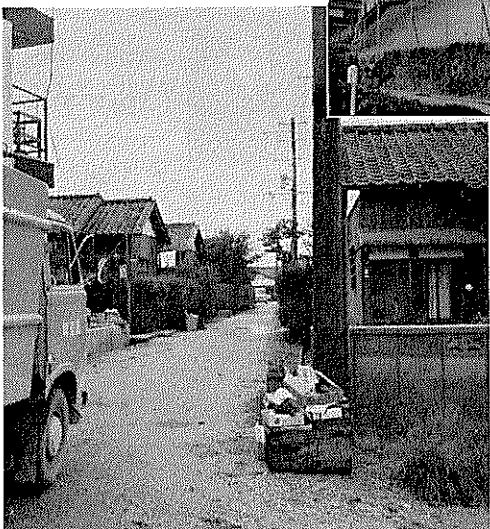
田辺町勢
 ◇人口17,333人(男8,463女8,870)
 ◇世帯数3,932 ◇面積43.61平方キロ ◇学校小学校5、分校1、中学校1、高校1 ◇保育所5 ◇町営住宅264戸 ◇公民館24 ◇図書館1 ◇隣保館1 ◇青年婦人研修所1 ◇水道施設6 ◇史跡一休寺、大御堂、寿宝寺など ◇特産物茶、蔬菜、桃、メロン、筍、竹製品、金銀糸製造など。

(毎号として保存しましょう)

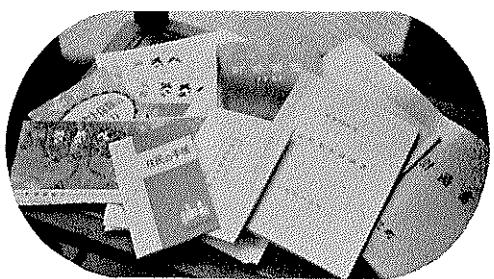
5年あゆみ



モダンな校舎・田辺小学校々舎改築（40）



町営住宅
いまでは
二百六十四戸
(今日もじんかい収集車が活躍)

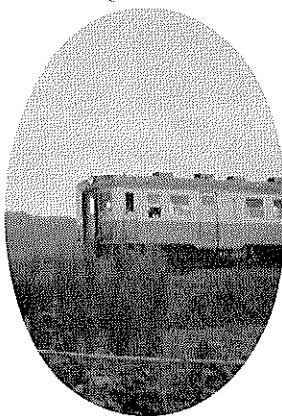
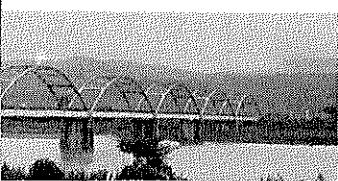


15年間に発行した町の刊行物

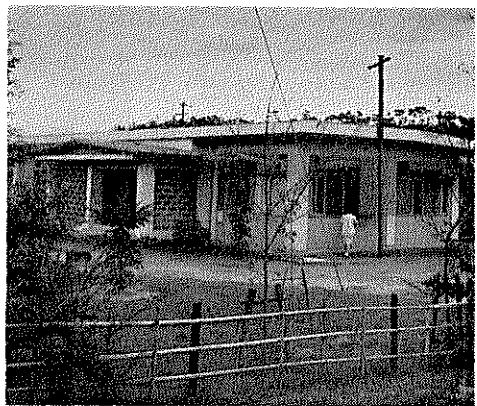
町の文化と産業の
ドアを開いた……

◆ 山城大橋開通 ◆
(39.4)

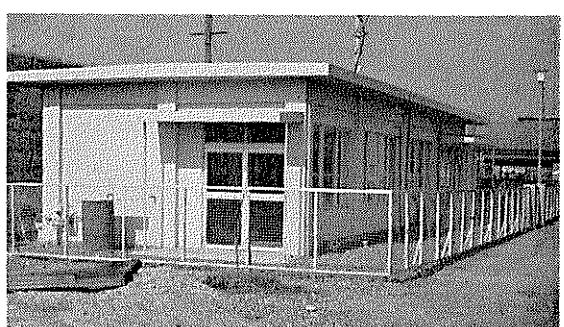
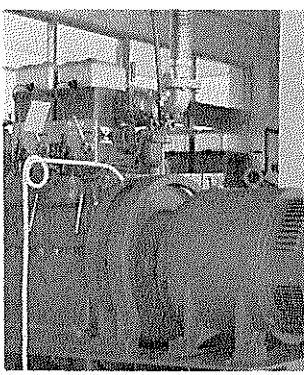
架橋工事（加藤重夫氏提供）
完成した大橋



片町線にディーゼルカー走る（26・10）



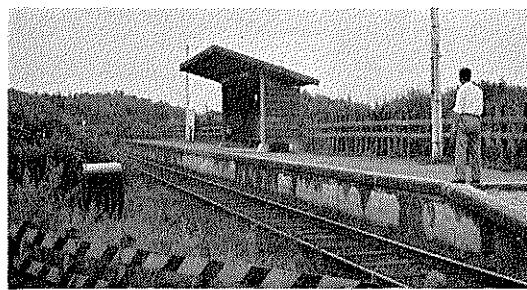
一休が丘に府立洛南寮できる（35.10）



(西浜のポンプ室) 町の水道施設も充実 (田辺西浜ポンプ場)

第二竜戸台風・本町を襲う

(36
・ 9)



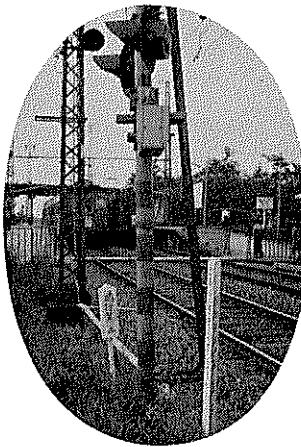
片町線上田辺駅・大住駅（写真）も新設（27・12）



毎年町内各区で航空防除も行われるようになった

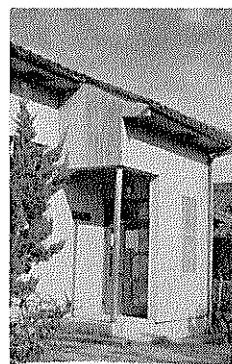
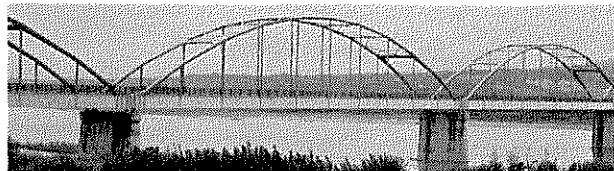


全国一ともいわれる設備の
府立田辺高校（38・4）



三つの駅
できる
興戸駅
(29・7)

町の発展は交通



町立図書館できる
(30・7)



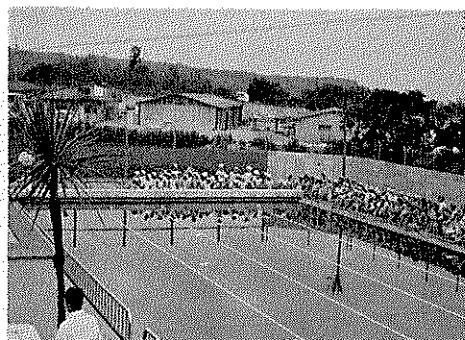
15年間で新装なった田辺中学校

目で見る
町の

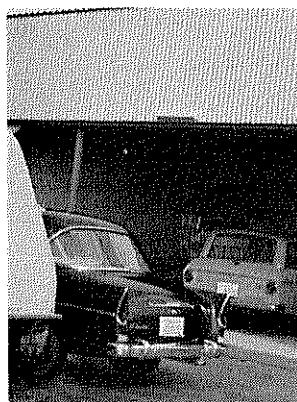
三・
つ・
の・
水・
泳・
プ・
ー・
ル
で
き
る



古い橋や町道も着々新しく改良されてゆく（薪一休寺
観光道路）



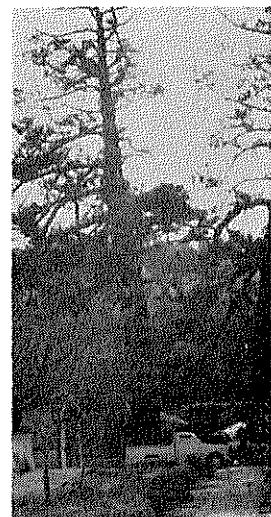
田辺小・三山木小（40・8）につづいて大住小
(写真41・8) にもでき児童の要望にこたえた



役場では広報車やバイク、自転車などを備え、一日も早く町の
うごきをみなさんにおしらせし
ています



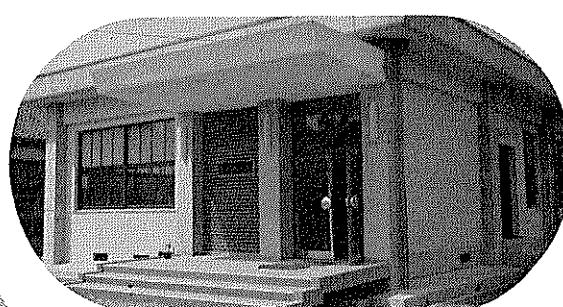
町内の府道や町道も毎年舗装されてゆく



その姿を消した……
町の史跡・三本杉
(一休寺で)



地籍調査は大住から……



明治の建物から新しく变成了草内小本館
(40・3)



産業の道・農免道路（第一期）
できる



町は第20回全国茶品評会で輝く産地賞の栄
冠を得た
(41・9)
(写真・加藤重夫氏提供)



町のおとしよりに毎年敬老金を
おくる
(40・6)



- 昭和二六年
四・一 大庄村・草内村・三
山木村・普賢寺村の四か村を
廢し田辺町に編入統合。
四・二三 町長に北川橋太郎氏
就任。
- 四・三〇 町議会議員選舉。
一〇・一 大住小学校々會増築
工事(木平百十六坪、工費百
三十六万八千円)竣工。
- 一〇・一八 片町線にディゼルカ
ー走る。
- 昭和三七年
四・一 役場出張所で取扱つ
ていた戸籍事務を本庁に引き
揚げる。
- 四・八 田辺高等技芸学院を
創設(建物は元大庄村役場)
- 四・一 本町にはじめての町
營住宅十戸、閑屋團地に建設。
- 五・二五 "田辺町政だより"
- 七・一 寄留制度廢止、住民
登録法実施。
- 七・一五 手原川の一部(延長
二、八百五十米)準用河川に
編入。
- 七・一八 吉野地震で竹の脇池
(草内)の築堤に大亀裂。
- 一一・一 片町線大住、上田辺
駅新設。
- 一二・一 町營住宅五戸、西羅
閉地に建設、総数十五戸とな
る。
- 昭和二八年
七・一 町營住宅十戸、閑屋
閉地に建設、総数二十五戸と
なる。

- 八・一五 南山城地方に大水
害。井手町では大正池の決
壊、玉川のハランにより死
者、行方不明百有余の命を奪
つた。本町も甚大な被害を受
く。
- 九・二五 台風十三号による風
水害で金町に荒々しいツメ
跡。この再度にわたる災害で
被害総額二億七千四百万円に
達した。
- 三・一 町營住宅五戸、西羅
團地に建設、総数二十戸とな
る。
- 昭和二九年
三・一 役場三山木出張所
(木平三十七坪、工費七十二
万三千円)改築工事竣工。
- 四・一 建築基準法第二十二
条の適用区域指定。
- 四・一 町税の納稅組合結成。
- 五・一 馬阪川隧道拡張改良
工事竣工。
- 六・一 田辺音頭・田辺青年
の歌の歌詞きまる。
- 六・一 私立大住保育園認
可、発足。
- 六・一 町立三山木保育園告
新築工事(木平八十二坪、工
費百六十一万四千円)竣工。
- 七・一 町立三山木保育園認
可発足。
- 七・一 国警練習地区署(井
手町)本町に移転。
- 七・一 町營住宅三十戸、興
用河川編入。
- 四・三 三山木小学校本館改
築工事(木平五十六坪、工費
五百五十六万七千円)竣工。

- 七・一 奈良電「興戸駅」新
設。
- 一〇・一 町議会議員選舉の小
選挙区制を「大選挙区制」に
改む。
- 一二・一 大住小学校々會改築。
- 一〇・一 三山木東区共同浴場
動場改築工事(木平八坪、
工費四百十二万七千円)竣工。
- 四・三〇 町長・町議会議員選
舉。町長に北川橋太郎氏再選。
- 五・一 町營住宅三十二戸、
三野、興戸、袖ノ木團地に建
設、総数九十二戸となる。
- 七・一 二 役場舎改築工事
(本館木2、その他付属建物、
木平二百十二坪、工費七百七
十九万八千円)竣工。
- 一〇・一 國勢調査。町の人口
一万五千三百八十七人、世帯
数三千二百二十六戸となる。
- 昭和三一年
一・一 準用河川の大谷川
(総延長二千米)の区城延長
認定と遠藤川(延長千七百米、
鬼灯川(延長三千三百米)の一部

- 九・一 錫賀郡滯納整理組合
発足。
- 八・一 六 三山木東区共同浴場
竣工。
- 七・二 町立図書館開館。
- 昭和三二年
二・一 飯岡区の電話(井手
局)を田辺局に編入。
- 一・一 松井区の電話(有智
郷局)を田辺局に編入、全町
一休が丘、興戸團地などに建
設。総数九十五戸となる。
- 一二・一 町營住宅十五戸一休
が丘建設。総数二百二十五
戸となる。
- 一二・一三 町内府道舗装(南田
辺一由辺警察署前)工事竣
工。
- 五・二六 田辺小学校々會改築
工事(鉄筋屋上2建三百四十
坪、工費二千五百二十万一千
円)竣工。

- 八・一五 三山木東地区水道布
設工事完成。工費二百二十八
万八千円)。
- 九・一五 田辺中学校増改築工
事(本館と校舎木2建五百
八十九坪、工費一千六百二十九
万八千円)。
- 一二・一 新町建設事業とし
て、町道興戸一普賢寺線(砂
利道、延長千七百五十米、工
費百九十三万円)興戸一草内
線(砂利道、延長千七十二米、
工費百八十万六千円)竣工。
- 一二・一 町營住宅十五戸、一
休が丘、西羅團地に建設。總
数二百十戸となる。
- 四・一八 町立田辺高等技芸學
院新校舎(木平百四十五坪、
工費四百九十九万六千円)竣
工。
- 昭和三四四年
二・一 町營住宅十五戸、一
休が丘、西羅團地に建設。總
数二百十戸となる。
- 四・三〇 町長・町議会議員選
舉。町長に伊東義純氏就任。
- 五・一 町立田辺高等技芸學
院を町の中心地に移転し開院。
- 一・一 国民年金法公布にと
もない無拠出制年金実施。
- 一二・一 三山木大橋起工(工期
四年で三十八年三月完成予定、
鉄筋金長五百十二米、巾員六
米、府下最大の橋工費二億六
千万円)。
- 一二・一 町營住宅十五戸一休
が丘建設。総数二百二十五
戸となる。
- 一二・一三 町内府道舗装(南田
辺一由辺警察署前)工事竣
工。
- 五・二五 三山木小学校本館改
築工事(木平五十六坪、工費
五百五十六万七千円)竣工。

- 万円。
 一〇・一 国勢調査。人口一万五千七百九十三人、世帯数三千四百四十二戸となる。
 一〇・一 府立洛南寮(養老院)第一期工事竣工。
 一一・六 田辺ゴルフ場開場。
 昭和三六年
 四・八 田辺小学校体育館改築(鉄骨二百十四坪、工費七百二十九千円)
 四・八 草内小学校体育館改築(鉄骨九十八坪、工費五百四十七万二千円)
 九・一 町勢要覧を発刊。
 九・一六 第二室戸台風、本町を襲い、十億円を超す大被害を受く。
 九・三一 じんかい処理場建設町に内定。
 昭和三七年
 一二・三〇 府立工業高校が田辺町原の神谷に決定。
 一二・一 町章を制定。
 一二・一 町営住宅二十戸、一休が丘に建設。
 五・二九 都市計画地域に指定される(町全域)
 七・一 三山木・大住水道敷設工事完成。
 七・一 役場機構改革、企画室を開く。
 九・二一 清掃法の特別清掃地域指定、(田辺区ほか十区)(市四米、延長四百二十米、工費二百四十万二千円)
 昭和三八年
 二・一 都市計画にもとづく、航空精密地図ができる。
 二・一 事務改善とともに、役場庁舎改築(十六坪、工費百万円)
- 三・一 役場窓口業務を開始。
 三・一 田辺中学校舎改築(第一期、鉄筋三階建三百一坪、工費二千七十六万円)
 四・一 打田区に奈良電バス開通。
 昭和三九年
 四・一 牟地造成工事規制区域指定(町西部丘陵地域)
 四・一 自治省から公明選挙運動モデル地区の指定を受けた。
 五・二七 町内各路線交通量調査実施。
 六・一 普賢寺保育所ひらく(定員三十名)
 六・五 府道枚方一水口線の島橋(三野)竣工。
 四・二 一 府道八幡一木津線中の島橋(三野)竣工。
 五・一五 近畿圏整備法の近郊区域指定(町全域)
 五・一一 昭和三九年度建設事業工事合同竣工式。(田辺小学校舎建築工事ほか十三件)
 五・一七 「明るく正しい選挙推進の町」を宣言。
 六・二五 「暴力追放の町」を宣言、町議会に暴力対策委員会をつくる。
 六・二六 田辺地区電話自動化促進委員会で決定。(町議会、促進委員会は一体となつて、
- 田辺郵便局の電話交換方式を自動化に改式を陳情)
 八・二四 高木公民館竣工(工費百十万円、四十八・四平方メートル)
 九・一 乳牛特産地として、本町の五農家をモデル農家に府からの指定をうける。
 一〇・一 岡村公民館竣工(工費百四十五万円、六十八・九八平方米)
 一〇・一 京阪(枚方、八幡)国鉄青駅各二往復)京都近鉄(新田辺一井手一三山木循環十往復)京阪宇治交通(岩山一国鉄田辺駅五往復)の各社区内の四新設路線の運行開始。
 一・一五 町議会片町線電化促進委員会発足。
 二・一三 町基本計画案まとめ。
 三・二一 休が丘が丘園地の通学専用道路できる。
 三・三〇 町道新寺一休寺線・大住一枚方線改修おわる。田辺上水道施設拡張なる。
 五・二二 一休が丘園地の通学専用道路できる。
 五・二七 町内各路線交通量調査実施。
 六・一 一 普賢寺保育所ひらく(定員三十名)
 六・五 府道枚方一水口線の島橋(三野)竣工。
 四・二 一 府道八幡一木津線中の島橋(三野)竣工。
 五・一五 近畿圏整備法の近郊区域指定(町全域)
 五・一一 昭和三九年度建設事業工事合同竣工式。(田辺小学校舎建築工事ほか十三件)
 五・一七 「明るく正しい選挙推進の町」を宣言。
 六・二五 「暴力追放の町」を宣言、町議会に暴力対策委員会をつくる。
 六・二六 田辺地区電話自動化促進委員会で決定。(町議会、促進委員会は一体となつて、
- 田辺郵便局の電話交換方式を自動化に改式を陳情)
 六・二九 第二回南山城環境衛生大会が本町でひらかれる。
 八・一三 田辺小・三山木小水泳プールびらき。
 八・二九 京都府青年大会、本町でひらかれる。
 八・一三 田辺小・三山木小水泳プールびらき。
 八・一九・二〇 敬老会ひらく。
 一・二三 第七回郡町対抗野球大会で本町チーム優勝。
 一・二八 草内小本館改築起工式。
 一・二九・二〇 敬老会ひらく。
 一・二三 第七回郡町対抗野球大会で本町チーム優勝。
 一・二八 草内小本館改築起工式。
- 田辺郵便局の電話交換方式を自動化に改式を陳情)
 六・一四 定例町議会で敬老金支給条例案などを可決。
 七・四 参議院通常選挙。
 七・九 農協合併促進協議会結成される。
 七・二一 第二回南山城環境衛生大会が本町でひらかれる。
 八・一九 京都府青年大会、本町でひらかれる。
 八・一九・二〇 敬老会ひらく。
 八・二九 京都府青年大会、本町でひらかれる。
 八・一九・二〇 敬老会ひらく。
- 田辺郵便局の電話交換方式を自動化に改式を陳情)
 八・二四 高木公民館竣工(工費百十万円、四十八・四平方メートル)
 九・一 乳牛特産地として、本町の五農家をモデル農家に府からの指定をうける。
 一〇・一 岡村公民館竣工(工費百四十五万円、六十八・九八平方米)
 一〇・一 京阪(枚方、八幡)国鉄青駅各二往復)京都近鉄(新田辺一井手一三山木循環十往復)京阪宇治交通(岩山一国鉄田辺駅五往復)の各社区内の四新設路線の運行開始。
 一・一五 町議会片町線電化促進委員会発足。
 二・一三 町基本計画案まとめ。
 三・二一 休が丘が丘園地の通学専用道路できる。
 三・三〇 町道新寺一休寺線・大住一枚方線改修おわる。田辺上水道施設拡張なる。
 五・二二 一休が丘園地の通学専用道路できる。
 五・二七 町内各路線交通量調査実施。
 六・一 一 普賢寺保育所ひらく(定員三十名)
 六・五 府道枚方一水口線の島橋(三野)竣工。
 四・二 一 府道八幡一木津線中の島橋(三野)竣工。
 五・一五 近畿圏整備法の近郊区域指定(町全域)
 五・一一 昭和三九年度建設事業工事合同竣工式。(田辺小学校舎建築工事ほか十三件)
 五・一七 「明るく正しい選挙推進の町」を宣言。
 六・二五 「暴力追放の町」を宣言、町議会に暴力対策委員会をつくる。
 六・二六 田辺地区電話自動化促進委員会で決定。(町議会、促進委員会は一体となつて、
- 田辺郵便局の電話交換方式を自動化に改式を陳情)
 六・一 地籍調査(大住地区)はじまる。
 六・一 固定町議会で敬老金支給条例案などを可決。
 三・一 田辺中学校舎改築(第一期、鉄筋三階建三百一坪、工費二千七十六万円)
 三・一 草内小本館改築工事竣竣工(二百五十二平方メートル・工費六百五十九万六千円)
 三・一 町道簡易舗装工事竣工(飯岡、井手線、田辺小学